

「支援の難しい人の地域生活の場を広げるためには何が必要か」

2016年11月4日(金)

今やグループホームの入居者数は 10 万人を超え、年々増え続けています。しかし、重い障害がある人、特に行動障害のある人の地域での暮らしを支えられる支援は、十分に増えているとは言えない状況です。これまでも、支援のノウハウを蓄積してきた一部の事業所や法人が対応してきた実践は全国各地にあります。一部が取り組むだけでは必要な量的対応の限界があります。また、難しい支援を必要とする行動障害のある人だからと言って、選択肢が極端に少ない状況は望ましくありません。行動障害のある人を支援できる人材を増やすこと、そしてその支援者を支える仕組みを整えることが必要でしょう。それをいかに実現していくか、現実的課題は何か、具体的に考え、意見交換をする機会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

■□ 日 時 □■ 2016年11月4日(金) 10時～16時

■□ プログラム □■

◆講演1「持続可能で有効な人材育成方法と法人を超えた仕組みづくり」

志賀 利一氏 (独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園)

◆講演2「住居の構造と物理的環境の整備を通して～行動障害のある方のグループホーム支援～」

戸枝 陽基氏 (社会福祉法人むそう)

<休憩>

◆パネルディスカッション「行動障害のある人たちの暮らしを地域で支えるために必要なこと」

パネリスト: 志賀利一氏、戸枝陽基氏、國井一宏氏 (NPO法人サポートセンターたつか一む)

司会進行: 中西昌哉氏 (社会福祉法人世光福祉会 ベテスタの家)

◆グループディスカッション

行動障害のある人への支援に既に取り組んでいる人たち、まだ経験はないが条件を整えばこれから取り組みたいと思っている人たち、地域でバックアップする仕組みをつくりたいと思っている立場の人たち、それぞれのグループに分かれて、現状の課題等について話し合います

◆全体討論

グループディスカッションで出し合った課題や必要なこと等を共有し、全体で議論します

■□ 会場・場所 □■

日本教育会館 第二研修室(8階) (〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)

<交通機関> 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅(A1 出口)下車徒歩 3分、

地下鉄都営三田線神保町駅(A1 出口)下車徒歩 5分、東京メトロ東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩 5分

【主催】 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

【参加対象】 障害のある人の地域生活支援に取り組む関係者及び内容に関心のある方など(定員; 100名)

【参加費】 学会員は 500円、非会員は 1,000円 *当日、受付にてお支払いください。

【参加申込について】

下記の連絡先まで、メールか、Faxにてお申込み下さい。必ず、会員か非会員かを明記してください。

申込締切日 平成28年10月31日(月) ただし定員を超えた場合にはその時点で締め切らせていただきます。

【連絡先】 Fax 045-228-7728 E-Mail; info@jgh-gakkai.com

日本グループホーム学会事務局 (〒231-0806 横浜市中区本牧町 1-120)

